

船舶事故調査報告書

平成24年8月9日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗揚（定置網）
発生日時	平成23年8月10日（水） 15時55分ごろ
発生場所	千葉県富津市金谷漁港沖 富津市所在の金谷港第1防波堤灯台から真方位241° 1,000m付近 （概位 北緯35° 09.6′ 東経139° 48.6′）
事故調査の経過	平成23年8月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーモーターボート ジョウコウ、10トン 260-45865神奈川、株式会社ジョウコウ 10.63m (Lr) × 3.75m × 2.35m、FRP ディーゼル機関2基、560kW（合計）、平成20年5月
乗組員等に関する情報	船長 男性 47歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成20年11月7日 免許証交付日 平成20年11月7日 （平成25年11月6日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	本船 船底擦過傷 定置網 導網のワイヤー被膜破損
事故の経過	本船は、船長ほか同乗者1人が乗船し、千葉県 ^{きよなん} 鋸南町保田漁港から神奈川県横浜市のマリーナへ向け、金谷漁港南西方沖を速力約24ノットで北進中、平成23年8月10日15時55分ごろ、金谷漁港沖の定置網に乗り揚げた。 船長は、前方の見張りを目視で行っていたが、海面に白波等があり、定置網に気付かなかった。 本事故による浸水、油の流出はなかった。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 4、視界 良好 海象：波高 約1m
その他の事項	船長は、様々なルートでの東京湾の航行経験を豊富に有するが、本事故発生当時は東京湾の波が高いとの情報を得ていたため、陸岸沿いを航行しようとして初めて本事故時のルートを採用し、目測で離岸距離を約1km以上とするように航行していた。 船長は、本船所属マリーナ及びボート雑誌等で提供される定置網情報により、周辺海域に定置網があることを認識していたが、各定置網の位置をGPSプロッターに入力していなかった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、金谷漁港南西方沖を北進中、船長が、前方の見張りを目視で行っていたことから、海面に白波等があり、定置網に気付かずに航行し、金谷漁港沖の定置網に乗り揚げたものと考えられる。 船長が、GPSプロッターに入手していた定置網の位置情報を入力しておく等の事前の準備を行っていたら、本事故の発生を回避できた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、金谷漁港南西方沖を北進中、船長が、前方の見張りを目視で行っていたため、海面に白波等があり、定置網に気付かずに航行し、金谷漁港沖の定置網に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・GPSプロッターに、定置網の位置を入力しておく等の事前の準備を行うこと。	